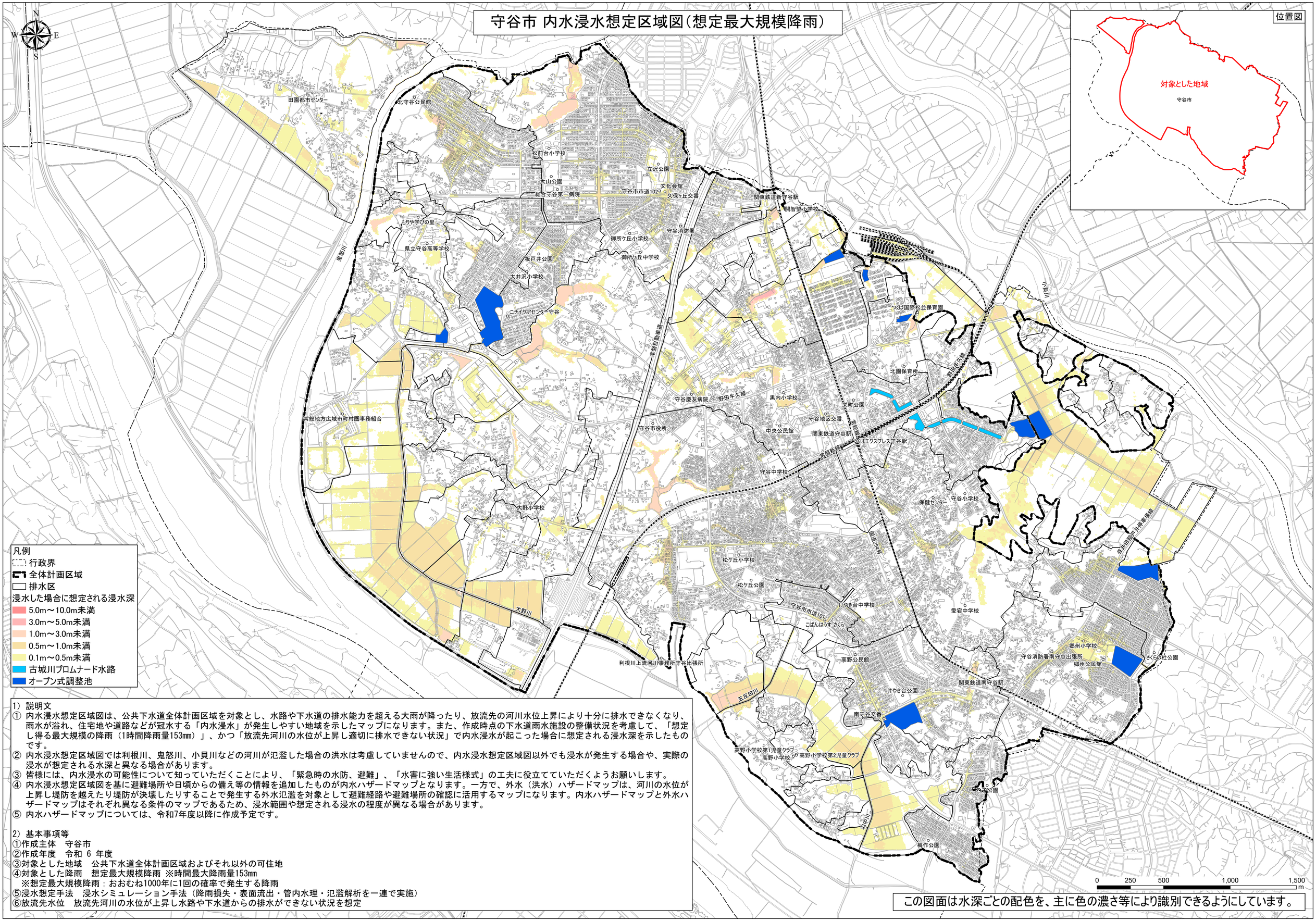
守谷市 内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）



1）説明文

① 内水浸水想定区域図は、公共下水道全体計画区域を対象とし、水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、放流先の河川水位上昇により十分に排水できなくなり、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水する「内水浸水」が発生しやすい地域を示したマップになります。また、作成時点の下水道雨水施設の整備状況を考慮して、「想定し得る最大規模の降雨（1時間降雨量153mm）」、かつ「放流先河川の水位が上昇し適切に排水できない状況」で内水浸水が起こった場合に想定される浸水深を示したものです。

② 内水浸水想定区域図では利根川、鬼怒川、小貝川などの河川が氾濫した場合の洪水は考慮していませんので、内水浸水想定区域図以外でも浸水が発生する場合や、実際の浸水が想定される水深と異なる場合があります。

③ 皆様には、内水浸水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式」の工夫に役立てていただくようお願いします。

④ 内水浸水想定区域図を基に避難場所や日頃からの備え等の情報を追加したものが内水ハザードマップとなります。一方で、外水（洪水）ハザードマップは、河川の水位が上昇し堤防を越えたり堤防が決壊したりすることで発生する外水氾濫を対象として避難経路や避難場所の確認に活用するマップになります。内水ハザードマップと外水ハザードマップはそれぞれ異なる条件のマップであるため、浸水範囲や想定される浸水の程度が異なる場合があります。

⑤ 内水ハザードマップについては、令和7年度以降に作成予定です。

2）基本事項等

①作成主体　守谷市

②作成年度　令和 6 年度

③対象とした地域　公共下水道全体計画区域およびそれ以外の可住地

④対象とした降雨　想定最大規模降雨 ※時間最大降雨量153mm

※想定最大規模降雨：おおむね1000年に1回の確率で発生する降雨

⑤浸水想定手法　浸水シミュレーション手法（降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施）

⑥放流先水位　放流先河川の水位が上昇し水路や下水道からの排水ができない状況を想定